

# サポートファイルの使い方

## 1 サポートファイルを使うメリット

お子さんの関係者がかわるたびに、今まで受けてきた支援や様子について説明し、共通理解を図ってきたと思います。しかし、作成支援者がこのファイルを作成し記録を蓄積していくことで、保護者と関係者がお子さんの情報を共有しあい、関係者がかわっても一貫した支援ができるようになります。

## 2 サポートファイルの作成者

基本的に保護者が作成します。作成にあたっては、関係者（いろいろな時期や場面で支援にかかわっている方）に相談しながら作成することも可能です。

## 3 サポートファイルの内容

このファイルは、乳幼児期から成人まで、お子さんの支援に必要な事柄を考え、実践し、それを記録していきます。

- ・ 発達の状況や療育、教育等の様子についての記録（保護者、関係機関）
- ・ 家庭生活における発達の状況や心配事、願いなどの記録（保護者）
- ・ 療育相談や教育相談など、各種相談内容の記録（保護者、関係機関）

## 4 サポートファイルの活用時期

いつからでもかまいません。使い始める時期や動機については、お一人お一人異なると思います。例えば、小学生のお子さんの支援のために、このファイルを使い始めようとしたとき、それ以前の段階（乳幼児、保育園や幼稚園、前学年）までの記録や情報を全て書かなくても問題ありません。ただ、プロフィールや生育歴は記入しておくことをおすすめします。

## 5 サポートファイルの活用方法

お子さんの特性や状況に応じて、お子さんを支援している関係者に提示する情報として必要な項目や連携をしていく中で必要になった項目など、選んでお使いください。使いやすいようにアレンジして使っていただいてもかまいません。

- ・ 基本的に保護者が管理し、必要な情報を必要な場面で記録する。そのために、関係者に情報の提供を求める。
- ・ 子どもの成長を支援するものとして、保護者や関係機関等が積極的に活用する。
- ・ ファイルの情報については、保護者の承諾を得た場合のみ、関係機関に情報を提供することができる。

※ サポートファイルには、とても重要な個人情報がたくさん含まれています。管理については、十分に注意ください。